

**瀬谷区地域子育て支援拠点事業
平成26年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	平成26年4月1日～27年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人さくらんぼ 瀬谷区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 瀬谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 平成26年度重点目標の評価

平成26年度重点目標	1 地域や地域の子育て支援活動とつながる。 2 多様な子育て層とその子どもが訪れやすい場となっている。
取組内容	1 親子サークル・サロン等への参加及び協力を行う。 2 地域で得た情報を区と共有する。 3 プレママカフェ・にこパパの日をルーティンで実施する。 4 地域での多文化協カイベントを利用者主体で実施できるよう援助する。 5 多国籍の養育者が活用できるよう、翻訳ボランティア等ネットワークを活かし、出産から育児期の課題を整理し、情報発信するための準備を進める。

取組の成果	①区内のサロンと親子サークルの会場を訪問し交流を図ったことで、各サロンや親子サークルの活動状況を知り、関係が強まりました。 11月より拠点を地理的に訪れにくい南部区境地区で、昨年度のモデル事業実施時にできた人のつながりを生かして、当事者主体の出張ひろばを毎月開催するようになりました。ここで得られた情報や利用者の様子について区と共有しました。 また、北部区境にある大型開発住宅地の民生委員さんからの申し出で、地域ケアプラザ、主任児童委員、区役所保健師、子育て支援拠点で話を重ね、次年度の出張ひろば開催に繋げました。 第3期地域福祉保健計画の策定懇談会の構成員として、地区活動の取組みの中に子育て支援の視点を取り入れてもらえるように意識して発言しました。 ②多様な子育て層への働きかけとして、父親向け(にこパパの日)やプレママ向け(プレママカフェ)の講座を毎月実施し、プレママカフェは地域の三つのつどいのひろばと合同チラシにして広報した結果、各会場とも参加者が増え、出産後の拠点利用につながっています。 外国籍の親子への子育て情報発信について関心が高い区内のNPO団体や、利用者、学識者に声をかけグループを立ち上げ、当事者へのヒアリング調査やスマートフォン版情報サイト作成の協力を行いました。
取組の課題	①豊かな子育て支援が地域で展開されるために、これまで培った人的なつながりや活動団体との連携をもう一步深めていくことが課題となっています。 また拠点として、サークルが主体的に活動するための機会を設定するなど、サークル活動が活発化していくための関係性を継続し、当事者層のエンパワメントを図る働きかけが必要とされています。 ②外国籍親子のための情報発信ツールの活用について、広報の方法など具体的に検討していく必要があります。